

単元名：

「ていねいなお願い」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年6月24日(木) 第1校時

授業学級 2年B組

授業会場 2年B組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

相手へお願いしたいと思っている子どもたちが、様々な相手や状況の会話をする場面で、様々な場面の会話を行うことを通してそれに応じたお願いの仕方を捉え、場面や状況に応じてていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 提示された写真を見て、写っている人が何をしたいのかを考える。	「副校長先生みたいに目上の人にはていねいにお願いをしないとイケないよな。」 「友達にお願いする時と副校長先生にお願いする時とで英語でも頼み方が違うのかな。」	・荷物を運ぶのを手伝ってもらう場面、水を飲むことの許可を取る場面で、副校長先生と友達にお願いする場合のお願いの仕方を考え、ペアでやりとりする時間を設ける。活動の前にじゃんけんをして勝った方がAさん役をやるよう促す。	7分
	【Today's Goal】場面や状況に応じてていねいに相手にお願いしたり、許可を求めたりしよう。			

展開	2. 相手にていねいに許可を求めたり依頼したりする表現を知る。	「写真を撮ってもらうためにお願いしているな。」 「May I って聞こえたぞ。」 「Could you も聞こえたぞ。」 「Sure って聞いたことあるけど、いいよって意味だっけな。」	「There is the conversation between Asami and the woman. Please listen to the conversation and fill in the blanks.」 ・教科書は開かず、ワークシート中の朝美と女性との会話をディクテーションすることを通して、相手に丁寧に許可を求めたり依頼したりする表現を聞き取ることができるようにする。【CD、CD プレイヤー】	5 分
	3. 許可を求めたり依頼をしている様々な場面のイラストを見て、ペアでやりとりする。	「Favor ってどういう意味だっけ。」 「Could you はしてくれませんかって意味な感じするな。」 「多分 May I, could you が丁寧な表現だな。」 「日本語と同じように英語にも丁寧さの度合いが違う表現があるのだな。」 「いろいろな場面があるな。」 「これは依頼するときの場面かな。」 「先生に窓を開けることを頼むときは依頼だから、could you を使うんだな。」 「May I ～ ?や Could you ～ ?をていねいなお願いの時に使うのか。」 「英語のお願いの仕方にもていねいさが違う表現があるんだな。」 「返事の仕方も相手によって考えないといけないのだな。」 「道に迷っているから道を聞きたいのだな。」 「自由の女神に行きたいのだな。」 「服を試着したいのかな。」 「松本城に有名人がいたら写真撮ってもらいたいな。」	「Then, open your textbook to page 31. Let's check the answers.」 ・教科書を開いて答え合わせをする時間を設ける。【教科書】 「Asami used polite expressions to the woman when she asked to take a picture. What is the polite expression in this conversation?」 「We can use these phrases when we ask something to strangers or superiors.」 ・会話文の中の丁寧にお願いする表現は何かを聞き、フラッシュカードを用いて丁寧に許可を求めたり依頼したりする表現を知ることができるようにする。 「Let's read the conversation together. Repeat after me.」 ・会話文を皆で音読する時間を設ける。 「Using these expressions, let's demonstrate these two situations in your worksheet. Aさん is the boy and girl, and Bさん is this woman and man. Let's start.」 ・じゃんけんして A, B を決めるよう促し、二つの場面についてペアでやりとりを行う時間を設ける。 「〇〇さん, let's do this situation together.」 ・こどもを指名し、デモンストレーションを行う。その中で、許可する表現「of course」や「Sure」が出てきたら、そのような表現が許可するときには使うことができるということを強調し会話の中で使えるようにする。 「No」と丁寧に無い断る表現が出てきたら丁寧な断り方について説明する。 「Let's do the next three situations in your worksheet.」 ・じゃんけんして A, B を決めるよう促し、三つの場面についてペアでやりとりを行う時間を設ける。	2 分 6 分 4 分 5 分 7 分 5 分

終末	4. 本時の振り返りをする。	「メニューを見せてもらうときは Could you show me a menu?だな。」 「丁寧な表現を学んだからもし外国 で道に迷っても道をていねいに聞い たりすることが出来るな。」	「〇〇さんのペア、please show me your demonstration.」 ・二つくらいのペアに当て、一つ場面を 選んでデモンストレーションを披露し てもらう。	4分
	【本時の評価（評価する対象）】 場面や状況に応じて丁寧をお願いすること ができたか、会話や発話から評価する。			